

このままでは
日本が滅亡する
われわれは
殺される
緊急行動を起こそう

本日、6月22日(金)18時から、首相官邸前にて
原発再稼働反対の超大規模抗議行動がおこな
われます。地下鉄「国会議事堂前」駅3番出口を
出てすぐのところですよ。

呼びかけは首都圏反原発連合有志です。

山本太郎さん、鎌田慧さん、落合恵子さんも参
加されます。私も参加します。

全国の人、首都圏の仲間・親戚・友人・知人
に参加を呼びかけてください。

広瀬隆

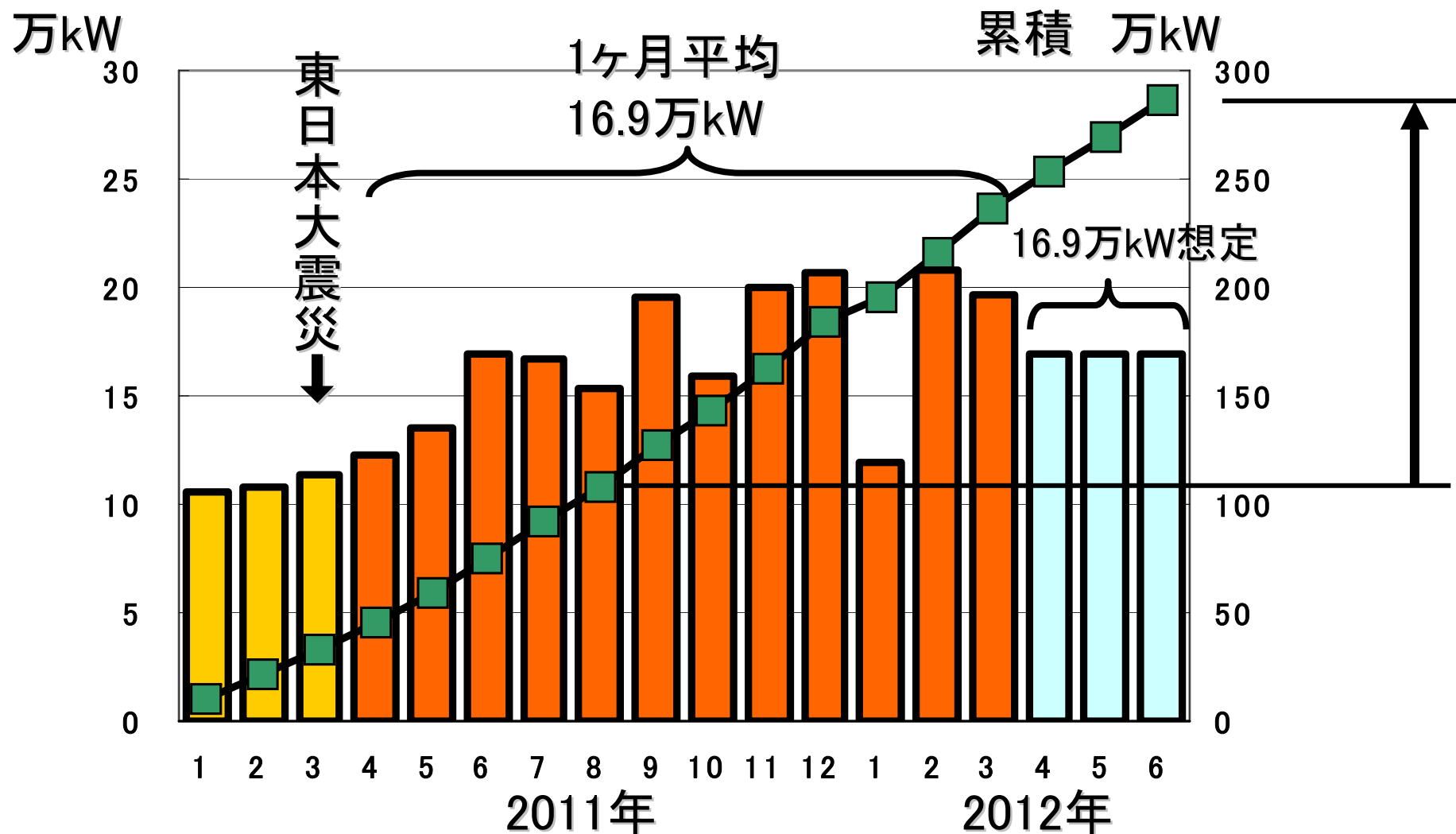
腐敗した国会
議員を落選させ
る国民運動を起
こそう!!

政府が「計画停電」の脅迫を産業界に与えているが、**停電を起こす原因は、電力不足にあるのではない。政府と電力会社が、原発を維持するために、故意に停電を起こそうとしている。**

産業界を苦しめているのは、野田内閣そのものだ。このトンデモナイ連中を、国会から一掃する必要がある。

近畿地方では大量生産のペースでエンジン発電機の生産が続いてきた。

昨年夏9月以降の増加分だけで179万kWになる



加えて、**病院・学校**および一定規模のビルには、すべて**落雷、地震、台風、洪水**の自然災害などによって電力会社からの送電が途絶えた場合でも、**停電しないよう**、電気設備技術基準、消防法、建築基準法によって、**業務遂行に必要な非常用電源の設置が義務づけられている。**

ビルのオーナーが火災報知機を設置するのと同じように、病院で手術をする人間は、この電源をしっかりと整備することが、電気を使う者の責任として定められている。



竜巻で屋根が吹き飛ばされた住宅。近隣でも被害の程度に差がある＝7日午前8時51分、茨城県つくば市北条、山本裕之撮影

関東広域で竜巻被害 電柱が倒れて各地で停電

竜巻被害 1500棟超す

つくばは500メートル幅で15キロ

北関東で起きた突風被害で、気象庁は7日、茨城県つくば市と栃木県真岡市の突風を竜巻と認定した。竜巻の強さを示す国際的な尺度「藤田スケール」(6段階)はつくば市が4番目に強い「F2」、真岡市が5番目の「F1」とした。F2は風速50～69メートル、F1が33～49メートル程度。過去に日本で観測された最大クラスは、2006年11月に北海道佐呂間町で9人が死亡した竜巻などのF3。

つくば市では1人が死亡し、37人が負傷。気象庁気象研究所(つくば市)は、電柱の倒れ方や建物の壁に様々な方向から泥が付着していた状況を踏まえ、竜巻と結論づけた。その上で「屋根がすべて飛んだ住居が複数あったこと、強さは屋根が飛ばされたり、大木がねじ切られたりするF2と見られる被害範囲はつくば市と茨城県常総市をまたがる幅約5

00メートル幅で約15キロだった。宇都宮地方気象台は、確認できた被害範囲の幅が一部で250～300メートルだった栃木県真岡市の突風を竜巻と判断。長さは真岡市から同県益子、茂木両町にかけての約18キロだった。両県で発生した竜巻が一つだったのか、複数だったのかは分かっていない。一つの場合は「スーパーセル」と呼ばれる巨大な積乱雲になっていた可能性もある。

一方、両県の被災建物数は、7日までに計1500棟を超えた。

竜巻に詳しい防衛大学校の小林文明教授は7日に上空から現地を調査し、「(竜巻の)移動速度は車並みの時速50～60メートルに達していた可能性はある。速く動いたため、時間は約10分と短くても広い範囲で大きな被害が出たのだろう。局所的にはF3級の竜巻になっていたかもしれない」と指摘した。

朝日新聞デジタルに動画

藤田スケールによる主な被害の区分
カッコ内は毎秒当たりの風速と、平均をとる時間

F0	(17～32m、約15秒)	小枝が折れる程度
F1	(33～49m、約10秒)	屋根瓦が飛び、ガラス窓が割れる
F2	(50～69m、約7秒)	住宅の屋根がはぎとられ、大木が倒れる。自動車は道から吹き飛ばされ、車が脱線することもある
F3	(70～92m、約5秒)	住宅が倒壊。大木でも折れる
F4	(93～116m、約4秒)	住宅がバラバラになって飛び散る
F5	(117～142m、約3秒)	住宅が跡形もなく吹き飛び、車なども遠くまで飛ばされる

気象庁のホームページから

停電はしょっちゅう起っている！



カラス、ヘビ原因 県内で停電頻発

電力会社、有効策なし

カラスやヘビが原因に追われる「因縁の相」の停電が頻発し、電力手だが、効果的な策が会社で苦慮している。は見つかっていない。中国電力岡山支社（岡山市北区内山下）によると、本年度は5月末までの2カ月間にそれであつた全停電（105件）の約4分の1（約4万2千戸）が停電した。両者は、電力会社被害は繁殖期を迎えるが長年にわたり対策2〜5月ごろ、ヘビは



電柱上に作られたカラスの巣を撤去する作業員（中国電力提供）

岡山市南区曾根（中国電力提供）

活動が活発化する。7月ごろに多発する。カラスは電柱上に巣を作る際、材料となる木の枝や針金、ハンガーの金属部分が高圧配電線に接触することで漏電して停電。ヘビは、

カラスやスズメなどの卵やひなを狙って電柱に上り、電線に触れるという。同支社では、管内一帯の金属部分が高圧配電線に接触することで漏電して停電。ヘビは、

カラスやスズメなどの卵やひなを狙って電柱に上り、電線に触れるという。同支社では、管内一帯の金属部分が高圧配電線に接触することで漏電して停電。ヘビは、

カラスやスズメなどの卵やひなを狙って電柱に上り、電線に触れるという。同支社では、管内一帯の金属部分が高圧配電線に接触することで漏電して停電。ヘビは、

同支社は「作っているのを見かけたら近くの営業所に連絡を」としている。（山本友志）



電柱上に作られたカラスの巣を撤去する作業員（中国電力提供）

落雷でも、洪水でも、台風でも、竜巻でも、停電は常に起こっている出来事だ。

これらの相次ぐ停電のため
病院で誰か死んだのか？

13都県で31万戸が停電

6月台風8年ぶり上陸 各地で暴風雨

台風4号は19日午後5時すぎに和歌山県南部に上陸し、近畿や東海、首都圏を暴風域に巻き込みながら北東へ進んだ。6月の台風上

陸は2004年以来、8年ぶり。倒壊したプレハブ小屋の下敷きになった男性が重体になるなど各地で事故が相次ぎ、計13都県で計約

31万1千戸が停電した。

▼38面川帰宅促す企業
梅雨の時期と重なった今回の台風。60キロを超える速い速度で進み、激しい雨を

もたらした。気象庁によると、神奈川県山北町では、午後9時前までの1時間に観測史上最大の81ミリの雨量を観測。山梨県南部町でも74ミリの記録した。20日には東北の東側へ抜け、温帯低気圧になる見込み。

静岡県沼津市では19日午後9時半ごろ、プレハブ小屋が倒壊して男性(53)が下

台風4号(19日23時現在)

予報円 ● 暴風警戒域



敷きになった。男性は病院に運ばれたが、心肺停止状態という。和歌山市では男子高校生(15)が強風で閉まった鉄扉に指先を挟まれて切断。朝日新聞のまとめでは、関東と東海、近畿で計27人が負傷した。

帰宅の足も乱れた。JR山手線や複数の私鉄などが運転を見合わせたほか、強風や停電の影響で東海道新幹線と東北新幹線の一部区間がストップ。JR東海は20日未明、東京駅に宿泊用として新幹線の車両を開放する準備を始めた。神奈川県箱根町では、箱根登山鉄道の列車が線路上の落石に乗り上げて脱線。計13人の乗客・乗員にけがはなかった。

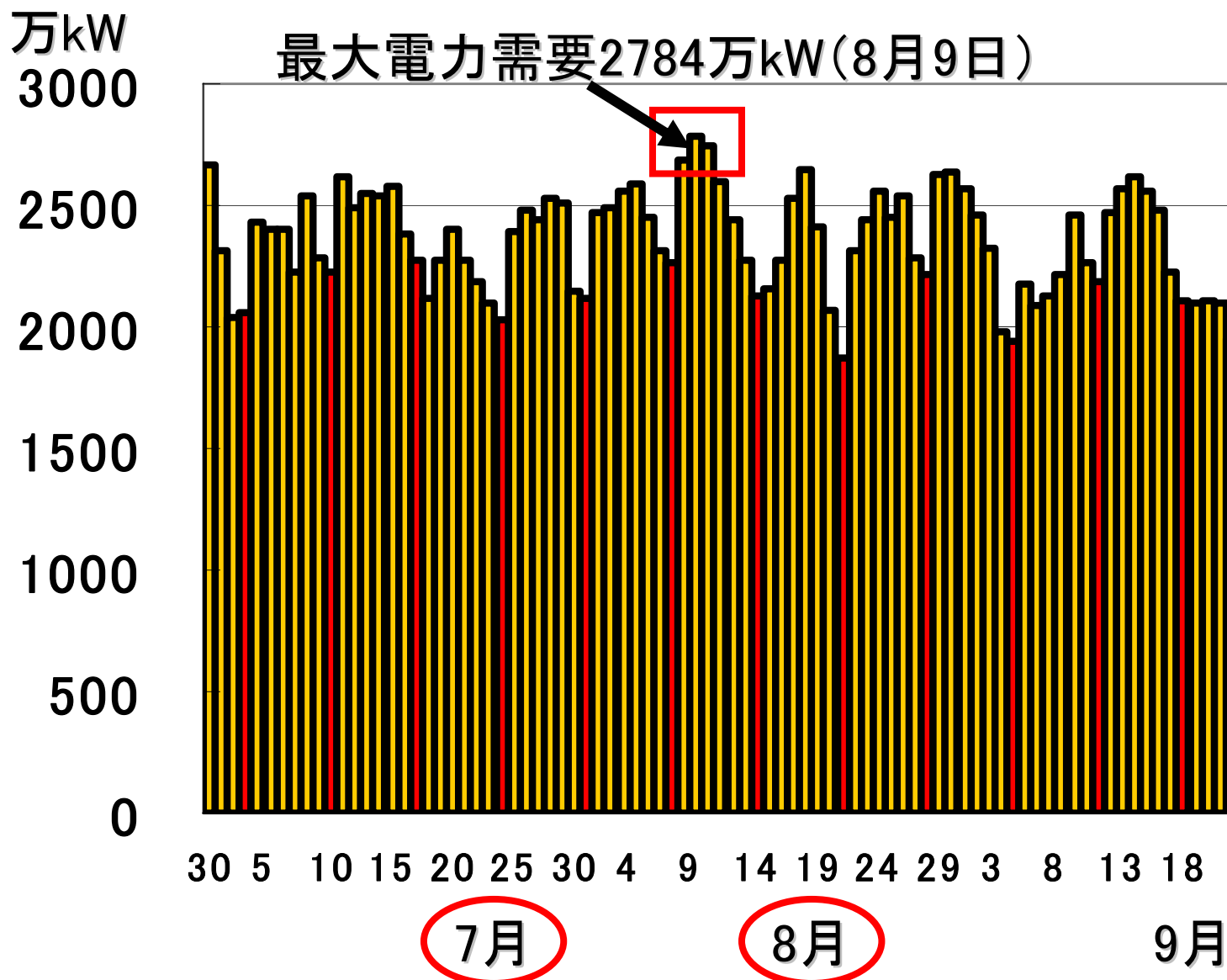
被災地も警戒感が広がった。宮城県石巻、気仙沼市は、東日本大震災で地盤沈下した沿岸部などの計約1万5700人を対象に避難勧告を出した。震災ですでに避難している住民も含まれている。



JR渋谷駅前の交差点では駅に向かって横断する人の傘が強風で壊されていた。19日午後9時46分、東京都渋谷区、福岡庸友撮影

関西電力の最大消費電力(去年6月30日～9月22日)

最大電力とは、一年でたったこれだけの話



何を騒ぐか！

2012年6月8日に、野田佳彦が記者会見して、
空疎な「大飯原発の再稼働必要論」をしゃべった
トンデモナイことだ。今度は、絶対に引けない。

（その前日に、私・広瀬隆はその内容をすべて
「週刊朝日UST劇場」で論破しておいたので、下
記サイトをご覧ください。）

<http://www.ustream.tv/recorded/23140879>

当日の中継放送に使った全資料および詳細な
ファイルは、週刊朝日の

<http://www.wa-dan.com/>

サイト内にアップしています。

野田会見の二日後・・・

愛媛新聞 2012年6月10日「地軸」の名文 (朝日新聞の「天声人語」と同じ欄)

地軸

おとといの
夜は鵒の鳴く
声を聞いている
ようで不気

味だった。頭は猿、手足は虎、胴はタヌキで尾は蛇、トラツグミの声に似るといふ伝説の妖怪。野田佳彦首相の会見と重なった▲首相は「関西電力大飯原発を再稼働すべきだといふのが私の判断」と述べた。政権は脱原発依存方針だったはずが、口を拭って、都合よく理屈を継ぎはぎした印象だ▲いわく「原発停止のままだと、電力価格の高騰が中小企業に影響し、雇用が失われる」「石油ショックのような痛みも覚悟しなければ」。揚げ句「夏場限定の再稼働では国民生活を守れない」。東京電力福島第1原発事故は収束せず、原因究明は中途、新安全基準もない中、全て既成事実の踏襲▲「現実的

事実の踏襲▲「現実的たれといふことは、既成事実屈服せよといふことにほかなりません。：それは容易に諦観に転化します」。60年前に丸山真男が書いている（「現代政治の思想と行動」未来社）▲政治思想の泰斗による、戦後再軍備や講和問題に関する思考回路分析が今すっぱり当てはまる空恐ろしさ。戦後さまたまな局面で、日本人は「現実的」対応を繰り返してきたのではなかったか、と問われているようだ▲伝説の鵒は源頼政が退治したという。現代の鵒は首相その人や原子力ムラの住人の内面に巣くう「現実主義」。諦めは禁物だ。退治しないと地震列島に2度目のフクシマを呼ぶ。

おとといの夜は鶴(ぬえ)の鳴く声を聞いているようで不気味だった。頭は猿、手足は虎、胴はタヌキで尾は蛇、トラツグミの声に似るという伝説の妖怪。野田佳彦首相の会見と重なった▲首相は「関西電力大飯原発を再稼働すべきだというのが私の判断」と述べた。政権は脱原発依存方針だったはずが、口を拭って、都合よく理屈を継ぎはぎした印象だ▲いわく「原発停止のままだと、電力価格の高騰が中小企業に影響し、雇用が失われる」「石油ショックのような痛みも覚悟しなければ」。揚げ句「夏場限定の再稼働では国民生活を守れない」。東京電力福島第1原発事故は収束せず、原因究明は中途、新安全基準もない中、全て既成事実の踏襲▲「現実的たれということは、既成事実屈服せよということにほかなりません。…それは容易に諦観に転化します」。60年前に丸山真男が書いている(「現代政治の思想と行動」未来社)▲政治思想の泰斗による、戦後再軍備や講和問題に関する思考回路分析が今すっぽり当てはまる空恐ろしさ。戦後さまざまな局面で、日本人は「現実的」対応を繰り返してきたのではなかったか、と問われているようだ▲伝説の鶴は源頼政が退治したという。現代の鶴は首相その人や原子カムラの住人の内面に巣くう「現実主義」。**諦めは禁物だ。退治しないと地震列島に2度目のフクシマを呼ぶ。**

諦めは禁物だ。退
治しないと地震列島
に2度目のフクシマを
呼ぶ。

2012年(平成24年)6月16日 土曜日 享月 三 新 聞 (夕刊)

国民の「圧倒的な反対」
の声を無視して・・・

関西電力大飯原発3、4号機（福井県おおい町）の再稼働が決まった。野田佳彦首相は16日午前、会談した西川一誠福井県知事からの同意を受け、関係閣僚会合で「再稼働することを政府の最終的判断とする」と述べ、正式に決めた。関電は同日午後2時半に再稼働の作業を開始。7月上旬にも3号機がフル稼働する。

▼2面■特別な監視体制▼13面■再稼働決まっても

昨年3月の東京電力福島第一原発の事故以降、検査で停止した原発が再稼働するのは初めて。国内50基の1/3程度で終わる。



会談の冒頭、あいさつする福井県の西川一誠知事（左）と野田佳彦首相ら＝16日午前10時14分、首相官邸、福留庸友撮影

これを前例に

今回の原発の再稼働は再び「安全神話」にすぎるとうなものだ。暫定の基準による「政治判断」で安全宣言し、再稼働を押し進めるやり方には大きな問題がある。

政府事故調査委員会による東京電力福島第一原発事故の検証は道半ばだ。地震や津波に襲われた原発で起きた事故を、現場はどう収束させようとしたのか、あるいは被害を拡大させてし

野田首相との会談で、西川知事は「関西のみならずの生活と産業の安定に資するため、同意する決意を伝えたい」と表明。続いて開かれた関係閣僚会合で、首相は「40年にわたって向き合ってきた自治体の決断を感謝したい」と述べたうえで、再稼働を宣言した。

会談で知事は、原発に対する国民の理解を深めることや、廃炉や使用済み核燃

料の対策など望。これに對
枝野幸男経済
本全体の電力
原発を止めて
い。原発は重
などと原発
調。平野博
は、地震・津
知事が求める
底断層調査を
に始めること
ただ、今回

まったくの策がとれるのは究明されてい福島を襲いに見舞われは起きないといったと政変いう。大飯原発を冷やす車や消防ポた。

イソップの童話に出てくるがごとき
二匹の醜いヒキガエルを見ているようだ。

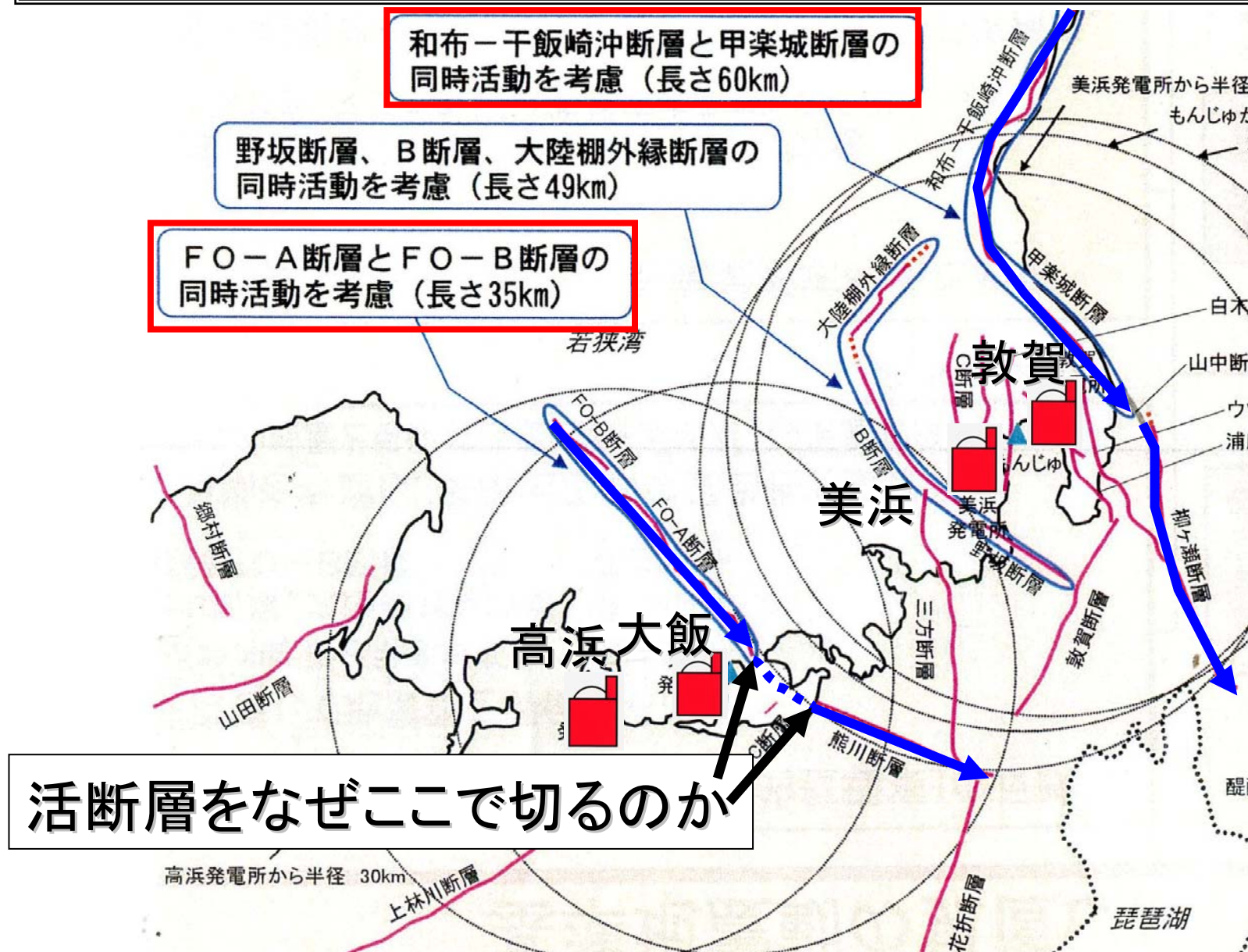


大飯原発再稼働に同意した福井県の西川
知事(左)に頭を下げる野田首相(右) 16日午
前10時37分、首相官邸で(中嶋大撮影)

東京新聞夕刊 2012年6月16日

関西電力による若狭原発周辺の活断層

断層を切らなければ立地審査指針に抵触する。
そのため断層長さを短く評価してきた。



海側のFOーB断層と、FOーA断層と、陸側の熊川断層が三連動すれば、総延長63キロメートルにも達し、マグニチュード7.8となる。

これは、阪神高速道路をひっくり返した兵庫県南部地震（阪神大震災）のエネルギーの5.6倍という内陸直下型の大地震である。

マグニチュード7.8の地震は、阪神大震災の5.6倍
という巨大エネルギーである。



阪神大震災で倒壊した阪神高速道路

大飯原発では、直下型の地震が発生するので、昨年の福島第一のように制御棒を挿入することができないまま、核暴走が起こって臨界爆発するであろう。

そして若狭湾のリアス式海岸には、たびたび津波が襲ってきた記録が明らかになっている。

天正大地震では、大津波が京都から福井にかけて若狭湾沿岸を襲い、数えきれない死者が出た。

若狭(福井県)のこと

「丹後・若州・越州、
浦辺波を打ち上げ、
在家ことごとく押し流す、人死ぬ事数
知らずと云々」

読売新聞でさえ
こう報道している。

「丹後・若州・越州、浦辺波を打ち上げ、在家ことごとく押し流す、人死ぬ事数知らずと云々」これは、戦国時代の京都の神主吉田兼見の日記「兼見卿記」の一説だ。1586年の天正地震の際、大津波が京都から福井にかけて若狭湾沿岸を襲い、民家を押し流し、数え切れない死者が出たと記されている。

しかし、400年以上前の記録のため、この津波の実態はよく分かっておらず、福井県の地域防災

古い文献 再検証進む

計画には反映されていなかった。東日本大震災を受け、同県は津波の被害想定の見直しを始め、「兼見卿記」などの過去の文献も調べ直している。

過去の津波の記録は各地に残されており、今回の震災を機に再検証が進んでいる。

証が進んでいる。慶長三陸地震（1611年）では、これまで信頼性が疑問視されていた史料があったが、今回の震災の被害状況などと照らし合わせると「十分信頼できる」という研究報告も出ている。同地震を調査している東北大学の蝦名裕一・教育研究支援者（日本史）は「古文書には、先人たちが大災害に直面しながらも、克服していく姿も記されている。復興という視点からも、様々な史料を読み直すことは重要だ」と話す。

大飯原発では・・・

関西電力の津波対策図

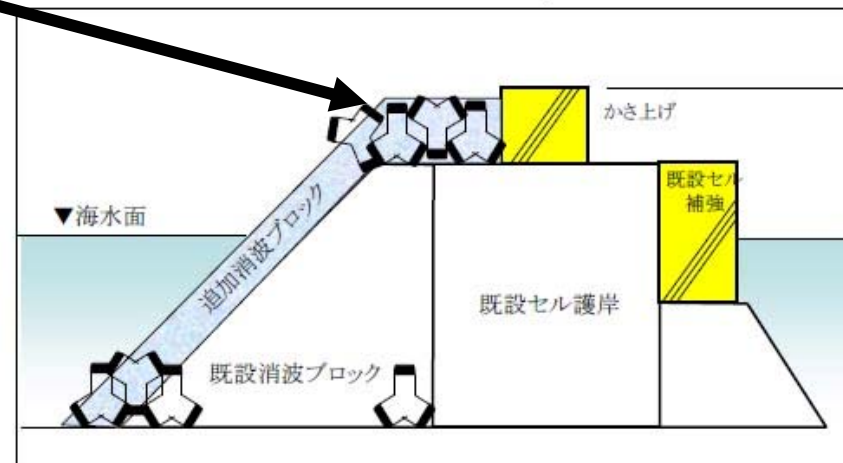
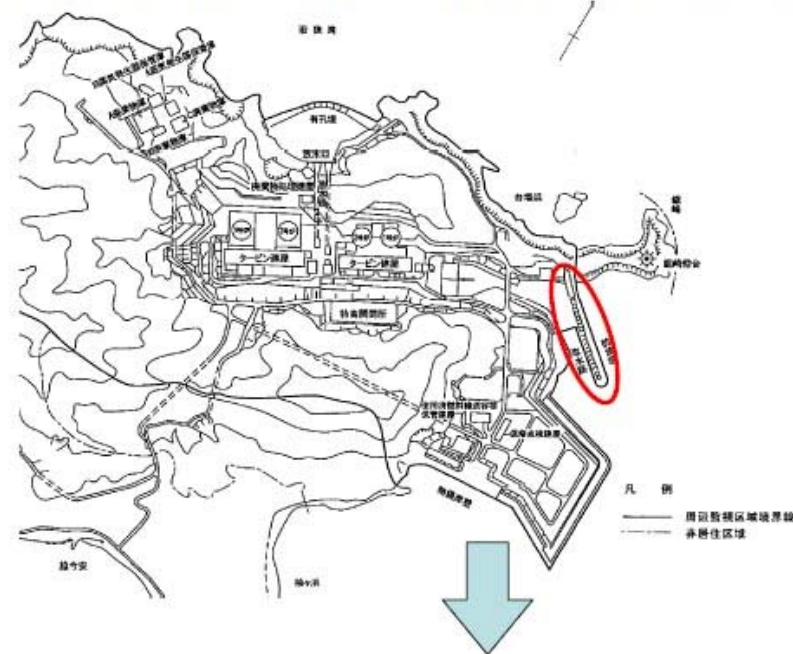
ブロックをつみあげて、全体を高くします

と、大津波を想定しながら、現在はその対策もとられていない。

大飯発電所 設備強化対策の概要

(津波の衝撃力緩和対策)

○津波の衝撃力を緩和するため、既設防波堤をかさ上げする。



立地審査指針に違反している

大飯原発が再稼働すれば、その瞬間から、大飯原発は原子炉に「最も熱量の大きな使用済み核燃料」を抱える。つまり日本国内で最も危険な原発になる。それは、核物理学的に、現在の日本全土を恐怖に陥れている福島第一原発の4号機と同じ状態に一変するということである。

関西の首長たちが、「夏だけ稼働すればよい」などと言っている言葉は、原子力について何も知らない子供の戯れ言である。

無能で、傍若無人な野田佳彦に、このまま原発の再稼働を許すわけにはゆかない。

一年以上にわたって国民が続けてきた原発廃絶を求める言動が無になる。

全国民を恐怖に陥れ、正気を失った政府が、再びわれわれを殺そうとしている。

ねぼけた経済界は、**消費税**の引き上げを歓迎しているが、これから国民から集める税金は、**福島原発事故の後始末**に使われることが分っているのだ。その額は、100兆円を超える。

税金とは、容れ物を大きくすれば、どこに使おうが官僚の自由で、国民には手を出せない仕組みになっている。

つまり、「**税と原発の一体改悪**」なのだ。どうしてこんな簡単なトリックが、日本の経済人に分らないのだろう。

東京電力は、すでに経営破綻している。

- ①福島県民の生活補償と賠償責任**10兆円**
(当座の分だけで)
- ②福島第一原発の廃炉費用**5～10兆円**
- ③福島県内の除染費用**80兆円**
- ④全土の瓦礫・汚泥・焼却灰の処理**10兆円**

最低限の費用だけで、これだけかかる。

これを国家＝被害者である**国民の税金**と、**電気料金値上げ**で補填することは、法律上、筋違いだ。犯罪者＝加害者の東電が、全資産を売却すれば、始末できるのだ。

日本の経済界は、子供たちに害毒を与える超危険な発電装置を選ぶというのか？

日本の工業界は、自分が製造する製品が、地球規模の放射能汚染を広げると宣言したも同然だ。それで、日常「エコ」を売り物にするとは・・・

企業人として、よく恥ずかしくないものですね。

経済界は大人になるべきだ。これでは、日本という国家は偽善者の塊である。

それで、日本を世界に誇ろうとは、人間として恥ずべき行為ではないのか。

国会議事堂～首相官邸を包囲
して、野田佳彦個人の退陣を求
める緊急行動を起こす時が来た。
野田を倒せば、原発は止まる。

野田の政治生命を断とう!!
それを首都圏のすべての人に
呼びかけます!!

あらゆる運動を結集しましょう。

訴訟も、署名も、申し入れも、株主運動も必要である。だが今は、一点に全員の力を集中しましょう。

原発が動き出したら元も子もないのだから。

“打倒・野田”の行動に立ち上がりましょう。

国民的な緊急行動を呼びかけてください。

主権は、われわれ国民にある。

国民は、なめられている。

誰も、野田佳彦のような人間のクズを総理大臣に選んだ覚えはない。

われわれは、原発の問題で直接民主主義を望んでいる。

だが、議会と政府が、間接民主主義の実権を握り続けて、日本列島に住むすべての人間の命を危険にさらすというなら、有効な手段を選ばなければならない。

早く日取りを決めて、行動に移そう!!

6月◆日には、誰もが、
仕事を休み、学校を休
んで、総決起だ!!

家族と、まわりの仲間を引き連れ
て・・・国会議事堂へ!!

国会を、即時解散させよう。

首都圏に遠いため国会議事堂前
に来られない人たちへ・・・

みなさんのご家族・親戚、知人、友
人で首都圏～関東地方に住む人に、
「この国会デモに参加するよう」強く
呼びかけてください。数が大事です。

そして首都圏に遠いため国会議事堂
前に来られない人たちは、みなさんの
地元で、野田佳彦に与する者すべて、
国会議員、地方議会議員、首長たち、
与党・野党を問わず、「野田一派を次の
選挙で落選させる」全国運動を起こして
ください!!

国民の命を脅かすこの重大な犯罪者
たちを、日本社会から排除しよう!!

関西広域連合の首長たちも、
国民を裏切った重大な犯罪
者だ!!

福井県知事・西川一誠は重
罪だ。

許すことはできない。

大飯原発の再稼働について、福井県の西川一誠(いっせい)知事が自ら「安全論」を語りだしました。ご承知のことと思いますが、私は、西川知事がどのような人格であるかを知りながら、昨年の福島原発事故のあと先月までは、彼の言動が「原発再稼働を直ちに容認せず」であることから、批判を控えてきました。むしろ、賞讃することによって、引っ込みがつかないように西川発言を引用して、褒めてきました。しかしここに来て、その正体を現わした以上、黙っていることはできません。

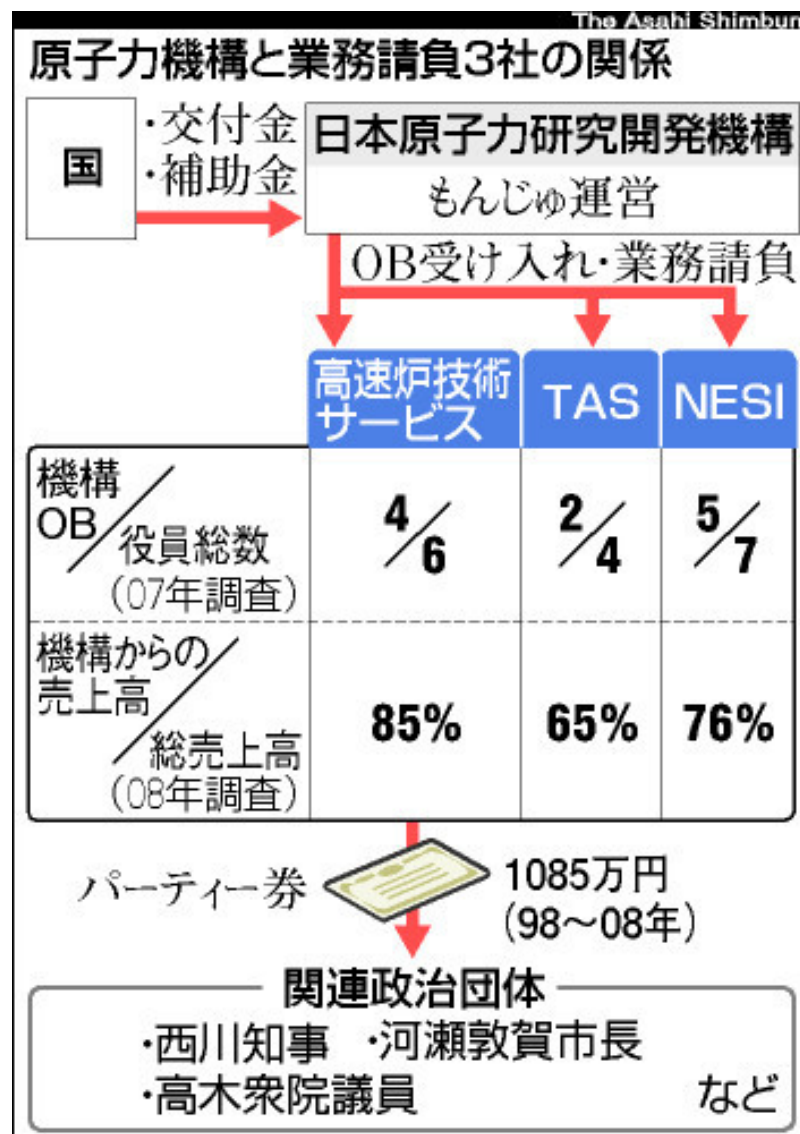
福井県内の自治体首長たちにまつわる原発業界からの利権は、すさまじいものであります。

一昨年2010年3月7日の朝日新聞の報道にあるように、西川一誠・福井県知事、河瀬一治・敦賀市長、高木毅^(つよし)衆院議員の三人は、その代表者です。金のことだけなら、目をつぶっても構いません。しかし、長い間にわたって原発利権によって危険性が隠蔽される事実を目にしてきた私たちは、彼らがトンデモナイことを考えてきた人脈であることを、現在の日本国民に伝える義務があると感じます。

2010年3月、**西川一誠・福井県知事**、**河瀬一治・敦賀市長**、**高木毅**(つよし)衆院議員(自民、福井3区。もと敦賀市長の**高木孝一**の息子)の各関連政治団体や、自民党支部が、日本原子力研究開発機構の業務を請け負うもんじゅ関連企業三社にパーティー券を購入させていたことが発覚した。河瀬市長は「**全国原子力発電所所在市町村協議会**」の会長。

[朝日新聞]2010年3月7日

もんじゅ企業パーティー券資金の流れ図



[朝日新聞]2010年3月7日

「原発は電源三法交付金や原発企業からの協力金があり、たなぼた式の金だ。放射能の汚染で50年、100年後に生まれる子供がみんな障害者でも心配する時代でない」

1983年に、この信じ難い暴言を発したのが、当時の全国原子力発電所所在市町村協議会会長・高木孝一です。この発言は、下記・毎日新聞の報道にあるような、なまやさしい表現ではなく、ここに全文の引用を憚るほどの恥ずべき言葉でした。この協議会が、全国の原発立地自治体の総本山として、54基の原発を建設させてきたのです。そして昨年、朝日新聞に報道された高木毅衆院議員が、その息子なのです。

「原発は金になる」

推進講演会で敦賀市長



高木・敦賀市長

全国原子力発電所所在市町村協議会長（全原協）を務める福井県敦賀市の高木孝一市長が北陸電力（本社・富山市）の原発建設候補地である

石川県羽咋郡志賀町での講演会で「五十六年四月の日本原発放射能漏れ事故はマスコミが騒いだけ。原発は金になる」などと発言していたことが四日、明らかになった。敦賀市の反原発団体が同日午後、講演テープをつきつけたのに対して、同市長は謝罪したが、同市や志賀町の原発反対住民の怒りはおさまりそう

ない。

この発言は原発推進派の羽咋広域商工会が一月二十六日、町民約百五十人を集めて開いた講演会で飛び出した。このなかで高木市長は「原発反対運動は県議選で過去二回も惨敗しており、住民に密着していない」「原発は電源三法交付金や原発企業からの協力金があり、たなぼた式の金だ」とぶちあげ、「（放射能の汚染で）五十年、百年後に生まれる子供がみんな障害者でも心配する時代でない」と結んだ。

「原発は電源三法
交付金や原発企業
からの協力金があり、
たなぼた式の金だ。
放射能の汚染で50
年、100年後に生ま
れる子供がみんな
障害者でも心配する
時代でない」

——全国原子力発
電所所在市町村協
議会会長・高木孝一

福島原発事故の前に報道されていた通り、西川一誠は原発立地県の最高責任者として、住民の生活と生命を守るにふさわしくない人間です。そのような人物が、大飯原発の再稼働を容認することは、報道界にとって、取り上げて深く論証すべき、重大な問題ある事実でありましょう。

これからも私たち日本人は、こうした人間集団に命を預けるのか。子供たちの命を、西川一誠らの福井県内自治体に預けるのか。このまま、原発が動き出してもいいのか。

——2012年6月 広瀬隆

子供たちが殺される

決戦の時が来た

何としても勝つ